

2016年5月18日

Press Release

報道関係・教育担当記者 各位

南山大学とUR都市機構との連携協力に関する 協定締結のお知らせ

平素は、本学の広報活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、南山大学では、本学留学生の居住支援、多様な価値観の中で共生・協働できる人材の育成および地域社会の活性化のため、別紙のとおりUR都市機構と連携協力に関する協定を締結いたしました。つきましては、取材、報道等におきましてお取り扱いいただき、広く一般に周知いただければ幸いです。

なお、恐れ入りますが、この件に関するお問い合わせは、国際教育センター事務室までご連絡をお願いいたします。

以上

南山大学とUR都市機構との連携協力に関する 協定の締結について

南山大学とUR都市機構中部支社は、多様な価値観の中で共生・協働できる人材の育成と千代が丘団地における地域コミュニティの活性化に寄与することを目的として、南山大学に在籍する学生（留学生）の居住支援等を行うことについて、相互に連携・協力することに合意し、平成 28 年 5 月 18 日に南山大学にて協定を締結いたしました。

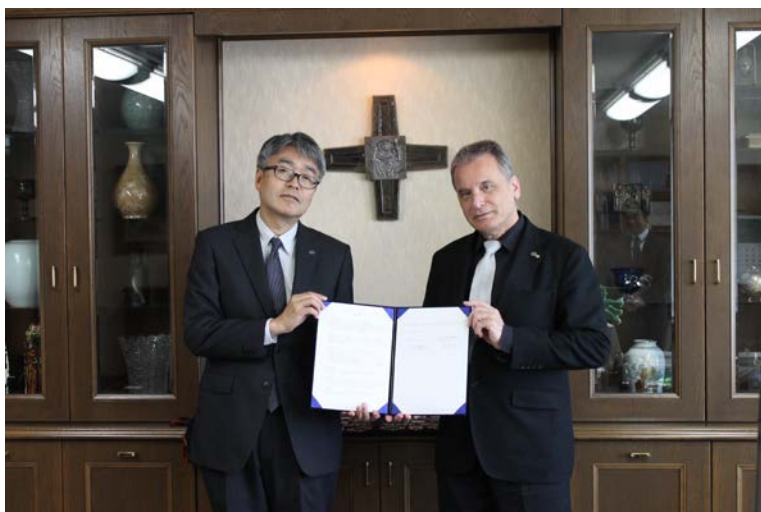


写真) 5 月 18 日、南山大学学長室で行われた調印式の様子
UR 都市機構中部支社長（左）、南山大学学長（右）

お問い合わせは下記へお願いします。

●南山大学

国際教育センター事務室

(電話) 052-832-3123

●UR都市機構中部支社

住宅経営部 管理企画チーム

(電話) 052-968-3134

総務部 総務チーム

(電話) 052-968-3305

1 背景・目的

UR都市機構は、「多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まちづくり」を目指し、若者から子育て世帯、高齢者世帯など多様な世帯が共生するこれからのミクストコミュニティづくり、住み慣れた地域で最期まで暮らし続けることが出来る住まい環境づくりを進めています。

南山大学では、国際化を推進するために、①多様性の確保、②個の強化、③多様な価値観を持つもの同士が共生し協働できる環境の整備、という3つの重要視点を柱に据え、文化・社会の違いを超えて必要とされ、国境を越えて活躍できる人材の育成を目指しています。

本協定は、南山大学が目指す「グローバル社会の中で活躍できる人材の育成」と、UR都市機構が目指す「ミクストコミュニティの形成」に寄与することを目的として、相互に連携・協力することに合意し、締結に至ったものです。

2 連携・協力事項

- ① 学生の居住支援に関すること
- ② 地域コミュニティ活性化への取組みに関すること
- ③ 多文化社会に向けた取組みに係る情報発信に関すること
- ④ その他上記①～③の目的を実現するために必要なこと

3 今後の取組み

- ・学生と地域住民の円滑なコミュニケーションを実現するために、南山大学とUR都市機構双方に連絡窓口を整備し、学生と地域住民が互いに理解し快適に生活できるよう、連携・協力します。
- ・地域交流の第一歩として、学生の地域コミュニティの行事等への参加を推進し、顔の見える関係づくりを目指します。
- ・学生と地域住民のコミュニティ活動の取組みを Web ページ等で社会に発信していきます。
- ・将来的には、地域交流活動が、学生にとって日本社会を学び、地域貢献を実践する教育の場となり、同時にコミュニティの活性化に発展していくような取組みを検討していきます。

【南山大学の概要】

- 所在地 名古屋市昭和区山里町 18
- 学 長 ミカエル・カルマノ
- 組 織 人文学部、外国語学部、経済学部、経営学部、法学部、総合政策学部
理工学部、短期大学部
大学院 人間文化研究科、国際地域文化研究科、社会科学研究科
ビジネス研究科、理工学研究科、法務研究科
- 学 生 数 9,981 人（平成 28 年 5 月 1 日現在）

【UR都市機構中部支社の概要】

- 所在地 名古屋市中区錦三丁目 5-27
- 支 社 長 伊藤 功
- 管理戸数 133 団地 57,246 戸（平成 28 年 3 月 31 日現在）

《千代が丘団地の概要》

- 所在地 名古屋市千種区千代が丘 1
- 管理開始 昭和 53 年
- 管理戸数 934 戸

